

4. 2022～2023年度 目 標

会 長 山 地 峰 春

この度、46期浜松西ロータリークラブ会長を拝命いたしました山地峰春でございます。コロナ禍の終息が見えそうで見えない状況でも、前年度は無事45周年を迎え、今年度は当クラブより坂田茂氏がガバナー補佐として活躍されます。歴史ある浜松西ロータリークラブの伝統を引き継ぎながらも新しい変化へのチャレンジの年にできますように力を尽くす所存です。

今年度のジェニファー・ジョーンズRI会長は、女性らしく、やさしさ、希望、愛、平和を想像する…「イマジンロータリー」をテーマとして皆様に呼びかけられました。

2620地区におきましては浅原諒蔵ガバナーが、ロータリー活動の原点である奉仕を通じて、クラブの活性化を図るとともに地域社会へ貢献する。「絆を深めて、ロータリー活動を再開しよう」と方針を発表され、地区目標達成への行動を促されました。

浜松西ロータリークラブとしては、外への扉を開き、新しい仲間づくりが出来る環境を、クラブ内に作っていきたいと思います。一人でも多くの方が持続可能な良い変化に関わり、良き仲間を作る為に行動をしていただける様に、会長の役割を全うしたいと考えております。どうか皆様のご協力をお願いいたします。

4-A. 浜松西ロータリークラブ中長期戦略計画

会 長 山 地 峰 春

1. 戦略的目標

- ・ 会員の維持増強に繋がるクラブ強化
- ・ 人道的奉仕活動と青少年支援
- ・ 公共イメージと認知度の向上

2. 戦略計画

A. 例会の見直し

夜間例会、合同例会の回数を増やし、自クラブの会員間や他クラブとの交流促進を図る

B. 奉仕事業の充実化

地区の活動と連携し、各奉仕委員会の事業計画を早めに立案することで奉仕プロジェクトを明確にし、継続・実施を推進する

青少年との交流を多様化する

C. グローバル補助金が使えるような奉仕活動を模索する

特別委員を設け2、3年後に実現できるようにする

D. インターアクトクラブ設立を内外に広報し、青少年と共に奉仕活動を活発にする

E. 会員増強維持

現在 50名

中期目標 55名 (5年後)

長期目標 60名 (10年後)

女性会員 30%

ア. 会員獲得に繋がるような、オープン例会/ゴルフコンペの立案

イ. 人望のあるクラブ内の諸先輩又は、金融機関・会計事務所から奉仕活動への参加として、クラブ入会の声掛けをお願いする

ウ. インターアクトクラブ設立に伴う、若い世代獲得へのアピールを！

エ. 会員維持、更に獲得のために趣味を通じた親睦同好会を増やす

F. RLIへの参加の推奨

若手会員のRLI参加による自己啓発、情報取得を推奨する

常に会長エレクト、次期幹事、理事3名ほどの出席を依頼する